

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成28年2月号

編 集

発 行 人 武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15

一般社団法人 日本病院会 通信教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <http://www.jha-e.com/>

受付時間 9:00~17:00

(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発 行 日 毎月1日

定 価 1部 150円 1カ年1,600円(税込・送料込)

郵便振替 00190-5-396045

名 義 一般社団法人 日本病院会 通信教育部

受験攻略に王道はない ~一つの勉強の仕方~

山内 一信

康誠会東員病院・認知症疾患医療センター院長
日本診療情報管理学会理事

この月報が受講生に向けての教育や事務連絡のためにあるということで、今回は受験にむけた実際的なことを述べたい。日本病院会の診療情報管理士のホームページには「診療情報管理士とは、ライブラリーとしての診療録を高い精度で機能させ、そこに含まれるデータや情報を加工、分析、編集し活用することにより医療の安全管理、質の向上および病院の経営管理に寄与する専門職業」とある。この資格を目指して通教の受講者は勉強に励んでいる。その内容は医学という大変幅広くかつ奥の深い分野である。医学生はこれらを6年間かけて学ぶが、受講生はこれらの内容のエッセンスではあるとしても2年間のスクーリングで学ぶことになり、さらにこの課程の中には医学では学ばない分類法のテクニックを学ぶ。

きっとこれだけの内容を2年間で、ほとんど医学的基礎を勉強していない方たちが学ぶことは大変であろうことは想像に難くない。従ってその困難さは診療情報管理士合格率にも表れている。小生はもう40年以上も医療や医学教育・研究に携わり、かつ関係しているが試験を受ければ合格は難しいのではと感じている。

ではこの受験をどう攻略するか。著者はこの資格試験の勉強には王道はないと思っている。一つの道筋が決まっていてその過程を修了すれば受かるというものではない。それぞれの事項について正しい理解と説明できるレベルに達している必要がある。

確かに知識は大事であり、問題には知識を問うものが多いが、大事なことは対象とする分野・事項に対してきちんと骨組み(骨格)をとらえることだろう。例えばDPCとはどんな仕組みで成立っていて、なぜ係数と指数とがありその意義は何かが分かれば丸暗記よりは理解しやすい。医学における各疾患についても、医療制度、病院管理などの項目についても同様と考える。その上で骨格の先にある知識を覚えることであろう。

各項目の骨組みについて講義を聞いてもなかなか理解できないこともあるかと思う。そんな時にはなんども丁寧にテキストを読み返すことである。何度も読んでいるとあるとき、「コッソ」と頭に響く時がある。そんな時が本当に理解したときであろう。分類法でも疾病の全体像を把握しておればかなり分類がしやすくなると思う。

受験資格学習はたやすい行程ではない。こつこつ、着実に勉強し進むことこそ早道になる。時間があればそれを惜しむがごとき学習が大事である。

勿論この考えは著者の考えることであり、人それぞれによって勉強法が違うかもしれない。一つの方法として考えていただければ幸いである。ご健闘を祈るのみである。

